「東金市第２期まち・ひと・しごと創生総合戦略」の概要

策　定　日　２０２１年（令和３年）３月

戦略の期間　２０２１年度～２０２５年度（５年間）

総合戦略は、「まち」に活力を取り戻し、人口減少に歯止めをかけることを目的に、市の最上位計画である総合計画の中のまち・ひと・しごと創生に資する施策や事業を総合戦略事業として位置づけ実施するものです。

1

東金市の人口の見通し



2

人口減少に対する取り組みの方向性

人口減少に対する取り組みの方向性

①魅力あるまちをＰＲして人を呼び込む　→　**げんきづくり**
②子育てのしやすい環境を整える　→　**みらいづくり**
③住みやすいまちをつくる　→　**まちづくり**
④地域に雇用を創出し働きやすい環境を整える→　**しごとづくり**
⑤地域間の連携を目指して　→　**きずなづくり**

目指すべき将来像

「豊かな自然と伝統を守り　未来へ続くMy City東金」

3

総合戦略の基本目標と施策

「東金市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」で示した人口減少に対する取り組みの方向性などを踏まえ、総合戦略では５つの基本目標（げんきづくり、みらいづくり、まちづくり、しごとづくり、きずなづくり）を設定し、これらに対する施策を次のとおり定めました。

げんきづくり　for Vitalization　～魅力あるまちをＰＲして人を呼び込む～

・学園のまちの特色を活かし、市民と大学等教育機関が連携し、まちを活性化する。
・首都圏の近郊に位置する便利な立地特性を活かし、人が訪れたくなるような魅力をＰＲする。
・地域の魅力を高め、地域力を底上げして、まちを明るく元気にする。

みらいづくり　for Next Generation　～子育てのしやすい環境を整える～

・安全面や経済面から子育て世帯を支援する。
・出会いから子育てまで切れ目なく支援する。
・教育・保育の現場と地域・家庭が一体となって子どもを育てる。
・働きながら生み育てやすい環境をつくる。

4

まちづくり　for Comfortable City　～住みやすいまちをつくる～

・時代の変化に適応した安全で便利なまちにする。
・市民や来訪者など多様な人が集まる拠点や魅力スポットをつくる。
・市と市民が協働して安心して住み続けられるまちをつくる。
・快適な住まいの場を提供し、新たな定住者を迎え入れる。

しごとづくり　for Job Creation　～地域に雇用を創出し働きやすい環境を整える～

・豊かな地域資源の活用や新技術の導入により、時代が求める産業を地域から生み出す。
・人の流れを促し雇用を創出する新たな産業の導入・育成を図る。
・多様な選択肢が可能となるよう生活と仕事の両立に向けた取組みを進める。
・ニーズが高い健康・福祉部門を充実させながら雇用を創出する。

きずなづくり　for Friendship　～地域間の連携を目指して～

・ともに生活する地域がひとつになり、水準を落とさずに効率的に運営する。
・便利で快適、安心・安全な暮らしを確保する地域のつながりと絆を深める。

＜　解　　説　＞

～東金市第２期まち・ひと・しごと創生総合戦略～

１.はじめに

国では、人口減少・超高齢化という日本が直面する大きな課題に対し、地域がそれぞれの特色を活かし、持続可能な社会を創生するため、平成２６年に「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を閣議決定しました。

２.東金市では、国の方針や決定を受けて・・・

○市民が安全安心に暮らし、子どもを生み育てられる社会環境を整備し、地域に雇用を創出することで、「しごと」が「ひと」を、「ひと」が「しごと」を呼び込む好循環を生み、「まち」に活力を取り戻すことで、人口減少に歯止めをかけることを目的に地方版総合戦略として「東金市まち・ひと・しごと総合戦略」を平成２７年度に策定した。

○「まち・ひと・しごと創生総合戦略」については、市の最上位計画である総合計画における、まち・ひと・しごと創生に資する施策や事業(総合戦略事業)から構成し、戦略独自の指標として「重要業績評価指標（KPI）」などを設定した中で推進する。

○令和３年３月策定の第２期まち・ひと・しごと創生総合戦略は、「まち」に活力を取り戻し、人口減少に歯止めをかけることを目的に、市のまちづくりの方向性と戦略の方針や、事業計画との連携を図っていく必要があるため、第４次総合計画の策定に合わせ、基本計画において示した。

３.総合戦略については、総合計画に掲げた目指すべき市の将来像である「豊かな自然と伝統を守り　未来へ続くＭｙ　Ｃity 東金」の実現に向けて・・・

○国が掲げる総合戦略の基本目標や、地域の特色を活かした中で、
げんきづくり、**みらいづくり**、**まちづくり**、**しごとづくり**、**きずなづくり**
の５つの基本目標（柱）からアプローチを行うこととし、
≪達成するためには何をすれば良いのか≫といったことについて具体的な数値目標等をもって、整理等をしたもの。

○言葉だけでは、目標への進捗状況や施策の達成度が分かりにくいため、数値目標を設定し、それらの数値がどう推移していくのかについて把握し、整理等をすることとしている。また、進捗管理の一環として、総合計画審議会委員の皆様から、戦略の実績に対する「御評価、御意見や御提案等」をいただいてきている。